



iコミュ!

iのまち稲城 コミュニティ & コミュニケーション ペーパー!

発行：稲城市自治会連合会

特殊詐欺にご用心!!



刑法犯認知件数が減少する一方で、市内では、今年に入ってから6件、約479万円の特殊詐欺被害が発生しています（令和3年8月末現在）。前年同月比で3件の増加となっているほか、アポ電（不審電話）の架電も増えています。ご家族やご近所同士で注意を呼びかけ、見守りの輪を拡げましょう。

★最近多い手口…

①還付金詐欺

市役所職員を装い、「医療費の還付金がある」等と言ってATMに誘導する。電話でATMの操作を指示してお金をだまし取る。

②キャッシュカード詐欺盗

警察官や金融庁職員を装い、「あなたのキャッシュカードが不正に使われている」等と言って自宅を訪問し、キャッシュカードを封筒に入れさせ、目を離れた隙に封筒をすり替えて持ち去る。

③架空料金請求詐欺

携帯電話へのショートメッセージ（SMS）や、法務省や裁判所等の名称でハガキを送付し、有料動画サイトの料金未納と騙って、コンビニエンスストアで高額ギフトカードを購入させ、ギフトコードを連絡させる。



★被害に遭わないために…

- 知らない番号からの電話は出ずに、留守番電話で用件を聞いてから対応しましょう。
- 電話でお金の話が出たら、必ず家族に相談しましょう。
- 知らない人に現金やキャッシュカードは絶対に渡さないようにしましょう。
- メールやハガキ等に記載してある連絡先には、安易に連絡せず、周りに相談しましょう。

特殊詐欺防止へ 自動通話録音機をお貸しします！

稲城市では、概ね65歳以上の市内在住の方がいらっしゃる世帯を対象に、特殊詐欺防止対策として、自動通話録音機を無償で貸し出しています。

電話の呼び出し音が鳴る前に、相手へ「この通話は防犯のため、会話内容を自動録音いたします。あらかじめご了承ください」というメッセージが流れるため、証拠を残したくない相手に通話を断念させ、特殊詐欺被害を未然に防止する効果があります。

特別な工具等は不要で、簡単に設置できます。機器の貸出については左記までお問い合わせください！



- 問合せ先：稲城市役所総務部 総務契約課 総務係
電話 042-378-2111（内線 512）

災害時の安全確保のため、避難情報の発信が見直されました！



【図表の注】

- ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

【詳しい内容については、稲城市ホームページをご覧ください。】

令和3年5月に、令和元年台風第19号において東日本に甚大な被害をもたらし、その教訓を踏まえ災害対策基本法が改正されました。

従前の警戒レベルでは、警戒レベル5「災害発生情報」では取るべき行動がわかりにくく、警戒レベル4が「避難勧告」と「避難指示(緊急)」では避難のタイミングが分かりづらいこと、警戒レベル3では「避難準備」という文言が入っていることから、どのタイミングで避難したらいいのか判断できず、多くの人的被害が発生しました。

その教訓を踏まえ、5段階の警戒レベルについて、警戒レベル5を「緊急安全確保」、警戒レベル4を「避難指示」に一本化し、警戒レベル3を「高齢者等避難」とするなど、住民がより素早く避難の判断を行えるよう改善が図られました。

これによって稲城市からは、早め早めの避難を促すよう避難情報が提供されますので、住民の皆さまには、災害情報メールの登録、マイタイムラインの作成等、災害時の行動についてあらかじめ確認くださるようお願いいたします。

自治会連合会の役員を紹介します！！

令和3年度稲城市自治会連合会総会（書面議決）にて役員が改選され、榎本会長（坂浜自治会長）、白井副会長（平尾自治会長）、藤井副会長（大丸自治会長）、早川会計（長峰社の三番街自治会長）の体制となりました。



榎本会長



白井副会長



藤井副会長



早川会計

どうぞよろしくお願ひします！

稲城ハイコーポ自治会は、総戸数 202 戸の居住者で構成されているマンションです。1979 年に竣工され、最寄り駅である稲城長沼駅（JR 南武線）までは徒歩 5 分ほどの立地になります。

例年、マンション内の美化運動や夏祭りなどのイベントを実施していますが、今般の新型コロナウ

イルス感染症の流行や度重なる政府からの緊急事態宣言の発出等により、例年通りの自治会活動が出来ない状況にあります。終息の見通しが立たない中で、東京都や稲城市、保健所等からの情報発信を注視しつつ、「新しい生活様式」に則した自治会活動を模索しています。直近の事例としては、資源ごみ回収やマンション美化運動、夏祭りの中止に伴い、ゴミ袋の配布を実施しました。また接触機会の低減と住民間の情報共有のため、役員会の議事録の回覧を実施しています。



稲城ハイコーポ（全景）



ゴミ袋配布活動の様子

防犯・防災面では、管理組合と共有する組織表が作成され、発災時の役割分担が明確にされ、夏休み期間中の建物巡回を実施しました。また、昨年は、単独避難困難世帯調査が実施され、役員間の協力体制構築の必要性が改めて示されました。

居住者の高齢化に伴い、事業計画の見直し等が課題となっていますが、共助の担い手として、今後も活動を続けていきたいと思えます。

東京 2020 オリンピック競技大会 自転車ロードレースが市内を疾走!

東京 2020 オリンピック競技大会の自転車競技ロードレースが、去る 7 月 24 日（土）、25 日（日）に開催され、世界のトップ選手が市内を疾走しました。

初日の男子、2 日目の女子とも、選手はゴールの富士スピードウェイを目指して武蔵野の森公園をスタートし、是政橋までのパレード走行を経て、稲城市に入ったところから本格的な競技が始まりました。南多摩駅付近から各選手の駆け引きが始まり、集団から数名の選手が飛び出し先行する展開となりました。沿道では市内で開催される初めてのオリンピック競技を生で観



戦するため、多くの観客が集まりました。

また、自転車競技は公道を使用するため、市民を中心とした約 300 名のボランティアの方がコース設営のためのコーンや鉄柵等の設置や、交通誘導など大会運営に携わりました。競技は大きなトラブルもなく無事に終わることができ、ボランティアの方に対し選手や関係者から「素晴らしい準備と大会であった」と大会組織委員会を通じて感謝の言葉をいただきました。



引き続き感染予防対策のご協力をお願いします！

令和3年7月12日に政府より発出された「緊急事態宣言」が、令和3年9月30日に解除されました。都内でも感染状況は減少傾向にありますが、解除後の緩みによる感染の再拡大、リバウンドも懸念されています。

また、デルタ株など新たな変異株による感染例も増えていますが、変異株であっても、個人の基本的な感染予防対策は変わりません。

以下の感染予防対策にご協力をお願いします。

- ①正しいマスクの着用と咳エチケットの徹底
- ②3密（密集・密閉・密接）を避ける
- ③手洗い、アルコール消毒の徹底
- ④路上飲みや大人数での飲食は控える
- ⑤家や職場でも基本的な感染症対策を徹底する
- ⑥少しでも自覚症状があれば、医療機関に相談する

感染リスクが高まる「5つの場面」

①飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



②大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

③マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



④狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。